



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2014 年 2 号 (通算 52 号)

目次

1. 開催のご案内

- (1) 平成 26 年度実験動物実技講習会(2 級試験対策) 2

2. 報告事項

- (1) 平成 26 年度 第 1 回役員会 2

- 平成 26 年度 第 2 回役員会 3

- (2) 『実験動物と動物実験 基本的動物実験手技(第 7 回)』 3

- 受講者からの感想文 3

3. その他

- (1) メーリングリスト登録について 6

- (2) 年会費について 6

- (3) HP について 6



1. 開催のご案内

(1) 「平成 26 年度実験動物実技講習会（2 級試験対策）」について

日 時：11 月 8 日（土） 9:30～17:00
(受付 9:00～9:30)

会 場：名古屋市立大学 医学研究科

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/guide/campus_map.html

講 師：日本エス・エル・シー株式会社 藤田 芳顕先生

定 員：10 名

会 費：会員 5,000 円 非会員 7,500 円

小動物を用いた実技を中心とした講習会です。

基本的な手技を取得したい方、2 級試験受験前の再確認をしたい方などは是非ご参加ください。

詳細は追ってご連絡いたしますとともに、支部 HP にも掲載いたしますのでご覧ください。

定員を超えた場合は、2 級技術者試験を受験される方を優先します。また、最少催行人数を 3 名とし、3 名に満たない場合は中止することもありますのでご了承ください。



実技講習の様子

2. 報告事項

(1) 平成 26 年度役員会

1) 第 1 回役員会

日時：平成 26 年 6 月 28 日（土） 14:00～17:00

場所：藤田保健衛生大学 生涯教育棟 2 階ラウンジ

議題：①基礎講習会準備

②理事会報告

③東海支部・北陸支部合併準備

④本部総会の準備

⑤法人化について

⑥その他

2) 第2回役員会(基本的動物実験手技講習会反省会兼ねる)

日時：平成26年7月27日(日) 17:00～18:30

場所：藤田保健衛生大学 基礎科学実験センター

議題：① 基本的動物実験手技講習会反省

② 今後の支部活動について

③ 2015年全国総会について

(2)『実験動物と動物実験 基本的動物実験手技 (第7回)』

下記の日程で実技講習会が実施され、15名の方に参加いただきました。

日 程： 平成26年7月26日(土)～7月27日(日) 2日間

26日(土) 13:00～17:40

27日(日) 9:00～17:00 (終日)

会 場： 藤田保健衛生大学 基礎科学実験センター等

講 師： 藤田保健衛生大学 生命倫理学 教授 佐藤 芳 先生

藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究センター

准教授 長尾 静子 先生

国立長寿医療研究センター研究所 実験動物管理室

小木曾 昇 先生

実技指導員：日本エス・エル・シー株式会社

藤田 芳顕 先生

講習内容：

- | | |
|---------------------|----------|
| 1) 基本技術講習会開催にあたって | 高橋 久英 先生 |
| 2) 動物を対象とする実験の倫理 | 佐藤 芳 先生 |
| 3) 実験動物概論 | 長尾 静子 先生 |
| 4) 動物実験に関わる法律について | 小木曾 昇 先生 |
| 5) 動物実験の基本的な手技(DVD) | 藤田 芳顕 先生 |

実技講習：

- 6) 動物の取り扱い
- 7) 動物の保定と個体識別
- 8) 動物の麻酔、投与、採血、採尿等の実験手技
- 9) 動物の解剖、臓器摘出方法、安楽死法

【参加者からの感想文】

参加された方から、講習会の感想、報告をいただきました。

『実験動物と動物実験 基本的動物実験手技（第7回）』

クミアイ化学工業株式会社
石俣 秀太

1日目の講義に関しては、一貫して実験動物への福祉的配慮が意識されている、と感じました。現代では医薬などの安全性試験から分子生物学的な学術研究まで幅広い分野で動物実験が行われており、もはや欠かすことのできないものです。だからこそ命が尊いものであるという意識が必要であり、実験動物の命に対しては食用となる家畜と同じくらい敬意を払うべきであると思いました。動物実験においては3Rを順守しても動物に対して苦痛を与えることがどうしても避けられない場合がありますが、その場合でもSCAWの苦痛分類を意識してなるべく低いランクになるような試験設計をする必要があると理解しました。また動物の苦痛を軽減させるような飼育環境の整備は、ストレスによる生理的変化を低減させ、再現性が高い試験を行うことに貢献できるのだとも考えられました。

2日目の実技講習では普段の業務で行っている保定、経口投与および下大静脈からの採血に加えて、腹腔内、尾静脈、皮下といった異なる経路の投与方法や心臓からの採血などを学ぶことができ、大変有意義でした。解剖における臓器の摘出も臓器を傷つけずに摘出するコツを聞くことができてためになりました。これらの技術を習得することができたならば、それをいかして職場の業務の幅を大きく広げることができると思います。したがって今回学んだことを職場に持ち帰り、練習を積み重ねることで技術を洗練させていきたいと考えています。特に尾静脈投与は難しく、今回あまり成功させることができなかったものでこれから習得すべき重点的な課題として頑張りたいです。



講習会の様子



懇親会の様子

「実験動物と動物実験 基本的動物実験手技（第7回）」参加報告書

名糖産業（株）名古屋研究所
坂本弘美

- ・開催日時：2014年07月26日（土） 13:00～17:30
27日（日） 09:00～17:00

- ・開催場所：藤田保健衛生大学
- ・主催：日本実験動物技術者協会
- ・講演内容：
 - 「動物を対象とする実験の倫理」
 - 「実験動物概論（実験動物と動物実験の必要性を含む）」
 - 「動物実験に関わる法律」
 - 「実験動物の取り扱いについて」
- ・実技（取扱い、採血、投与、麻酔、解剖等）

今回のセミナーでは、1日目に実験動物概論や動物実験に関わる法律などの講義をうけた。講義では、実際に動物実験をしている方々の意見を聞くことができ、動物実験の必要性や正しい動物実験について理解を深めることができた。近年はEUでの動物実験禁止をうけ、化粧品業界からの問い合わせを受けることも多く、動物実験を行うのが難しい風潮になっている。しかし、ヒトの安全性の担保や技術の発展のためには必要なことであり、規則を遵守しながら正しい知識を持って動物実験を行うことの重要性を学ぶことができた。実験動物関係者が果たすべき責任を十分に理解するための資料として、社内教育に活かしていきたいと思う。

2日目には、実際にマウス、ラットを使った実技講習が行われた。マウス、ラットの取扱いには慣れているつもりだったが、馴化や投与・採血方法は改めて学ぶ点も多かった。特に採血に関しては、頸静脈と下顎静脈からの採血を初めて経験でき、技術の幅を広げることができた。解剖に関しても、教科書的には知っていた臓器を実際に採取することができ、業務で活かせる手技を学ぶことができた。麻酔に関しては、小型麻酔器を見学したが、導入には数十万円が必要なため、会社を導入するのは難しいと思うが、装置を必要としない吸入麻酔の方法についても情報を得ることができたため、今後活用していきたい。

動物実験には十年以上携わってきたが、動物福祉に則った正しい知識や手技を学ぶ機会は少なかったため、今回のようなセミナーに参加し、再学習できたのはとても良い経験になった。今後も適切な動物実験を行うための教育訓練として、このようなセミナーを積極的に活用していきたいと思う。

実習風景あれこれ



3. その他

(1) メーリングリスト登録について

東海支部では従来よりPDF会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト（ML）に登録し、会報の発信等を行ってきました。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、今後は会報のみならずさまざまな情報を発信していく予定です。郵送による情報の提供よりも早く、またML会員だけに送られる情報もありますので、ぜひMLに登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報（メールアドレス等）はMLのみに使用し、他には一切使用いたしません。

*ML登録希望の方は、東海支部事務局まで e-mail にてお申し込みください。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

(2) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000 円

振込先 名 称 : 日本実験動物技術者協会
口 座 : 00130-9-102291
取扱機関 : 落合郵便局

(3) HPについて

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部HPを活用しております。随時更新していきますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。

HPのURLは、 HP：<http://www.jaeat-tokai.org> です。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI-branch

2014 年 9 月 No. 52

<発行者> 支部長 前田 典彦

<発行所> 日本実験動物技術者協会東海支部

<事務局> 事務局長 羽根田 千江美

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究センター

TEL&FAX 0562-93-9398

e-mail : mailtokai@jaeat-tokai.org

HP : <http://www.jaeat-tokai.org>